

リベンジ・ラン

兵庫県 ありみ

陸上競技、特にフルマラソンなどの長距離は体重が軽い方が有利と言われます。

でも私は、それに囚われて体を壊した経験があります。軽ければ、もっと早く走れる！
そう思い、過激なダイエットをした結果、摂食障害になりました。食べたい気持ち、走りたい、走らなきゃという気持ちでボロボロになりました。そんな私を支えてくれたのは、家族はもちろんですが、陸上競技部の仲間でした。特に、中学校の部活で一緒だった M ちゃんは、今でも仲が良く、彼女は神戸マラソンの補助員もしていたことがあります。「補助員として神戸大橋で待ってるからね。ありみ、私に会いにくるねんで」と鼓舞してくれた、あの言葉は忘れられません。結果は残念ながら、関門に間に合わず、M ちゃんには会えなかったのですが、あのときの悔しさと、信じて待っていてくれて、今でも私の心の支えである M ちゃんに、感謝の気持ちを込めて、今回は完走します！

ランナーエピソード わたしの『感謝と友情』ストーリー



KOBE MARATHON
2022.11.20 SUN